
ウルトラマンゼロ!仮面ライダーオーズ&アギト!スイートプリキュア 韶け!三つの明日!!

R × P

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ウルトラマンゼロ！仮面ライダー オーズ&アギト・スイートプリキュア 韶け！三つの明日！－

【Zコード】

Z9265Z

【作者名】

R×P

【あらすじ】

渡たちが帰つてから数ヶ月がたち狼たちはそれぞれ新しい学年になつた。

そして空間を使ってポセイドンドライバーとそのメダルを盗んだ男を追つて映司たちが加音町にやつてきた！－

今明日の未来を賭けた新たな戦いが巻き起こる！－

新たな出会いとアウノウンの出現!! オーナー登場!!

予定より早く第一話が書きあがり早めに連載しま～ス!!

新たな戦いの幕開け…楽しんでください!!

新たな出会いとアウノウンの出現！！オーナーブリーチーズ！！

「」は加音町…あの激闘から数ヶ月がたち春に変わつて響達は中学生になり、アコは四年生になつていた。

狼「ふああああ～いい天気だな～！！」

校内の原っぱで大の字に伸びてのんびりしている少年がいる。

彼の名は犬上狼と言い また彼はこの世界を救つた英雄の一人ウルトラマンゼロであり仮面ライダーアギトである！！

また彼はあの戦いが終わつた後、異次元の世界である「仮面ライダー＆ブリキュア 戦う戦士たち」の世界を旅して三日前に帰ってきたのだが…こちらの世界では旅立つてから丸一日しか立つていなかつた。

そこにあの戦いが終わつた後告白して以降付き合つてゐる俺の彼女のエレンがやつて來た。

エレン「あ！いた～！！狼くんもうすぐ授業始まるよ？」

笑顔で言つエレン。くう～！！かわいいな～！！！

狼「お！マジ！じゃあ行きますか！！」

狼はニヤニヤして起き上がりエレンと手を繋いで一緒に教室に向かつた。

同じ時刻…浜辺

【バチバチバチ】

突然浜辺の上空に空間が広がり三枚のコアメダルを丸いベルトポセイドンドライバーを装備した金髪でピアスをした男が現れたのだ。

その男は浜辺に降り立ち

？「フフフ～！やつと…俺は…俺は…また戦えるぜええええ！」

「…ハハハハハハハハ！」

不気味に笑うと

? 「さてまずは……この町のことを調べるか……あ、腹減った！」
！」

そう言つと男は去つて行つた。

同時刻の広場

三台のバイクでライドベンダーと言つマシンに乗つた男達が丁度この町に到着し男3人がヘルメットを外す。

後藤「ここは何所かに……アイツが現れるはずなんだが……つて火野！
！伊達さん！！」

この男は後藤 慎太郎といい元鴻上ファウンデーション所属のライドベンダー隊第1小隊長であり里中エリカの元秘書補佐である。現在は刑事に復職しているが今回は特別任務の為バースの装着者に復帰し今回の任務を引き受けたのだ。

映司「おおお！！！凄い！！！大きな時計塔だ～！！！」

時計塔を見ていた男は火野 映司といい仮面ライダー オーズとしてグリードと戦い現在は鴻上ファウンデーションに研究協力員として所属し、割れてしまつたアンクのコアメダルを元に戻す手掛かりを求めている。

また彼はフォーゼと共に戦ったあの戦いの後再びコアメダルを取り戻しましたオーズに変身が出来るようになつたのである。

伊達「すっげーな！！こんな時計塔海外以外で初めて見たぜ……よし！！火野！！後藤ちゃん！！記念写真撮ろうぜ！！！」

そう言つてカメラを何所からも無く取り出した男は伊達 明と言つ医師で、かつては世界各国で活動を行う医療チームに所属し「戦う医者」の異名を取つており初代バースである。またかなりの面倒くさがり屋でバースも実戦で使い方を覚えた程である。

後藤は呆れながら

後藤「俺たちは観光に着たんじゃ有りません！！アイツを追つて来たんですよ！！それにコレは鴻上会長の命令なんですから まつたく…」

「そう彼らは先ほどの男を追つて来たのだ。

映司「わかつてますよ さて[冗談はコレ位にして…早く。ボセイドンのメダルを使つたその人探さないと……！」

映司は笑いながらも真面目な顔で言う

後藤「取りあえず全員バラバラで捜索しましよう。その方が早く捜査できますし…」

伊達と映司は領き再びエンジンを駆けてバラバラに行動を開始し始めた。

一方の俺たちは学校が丁度昼休みで弁当を食べ終えあの戦いの終わった後に入手したティラノザウルスが描かれた紫のメダルを取り出してしげしげと眺めていた。

エレン「結局そのメダルってなんなのかな？」

エレンは不思議な物を見つめる目でメダルを見る

響「ううん…もしかしてスッゴイお宝だつたりして？」 目がキラキラ

奏「それにしても…なんで恐竜なんて描かれているのかしら？」

彼女は少し困惑した表情で言う。

狼「まあ！考えたつて仕方ねえぜ…！それよりこの後放課後…うん

！！！！！」

突然頭に見た事無い怪人のイメージが出てきた。俺がアギトの力を入手時には無かつたが最近敵を感知できるようになつたのだ…！

エレン「狼くん？」

心配そうに聞くエレン

狼「敵だ…」

狼がつぶやきみんながえつととなる

狼「見た事無い怪人が町の建物の間に現れた！！行くぞ！！」
そう言つて俺は走る！！

響「え！！ちょっと！！まつてよー！！！」

3人は狼を追いかける。

一方建物の間の道ではジャガーミたいな怪人が親子を襲う数前だった
男性「うわあああああ！！！助けてくれー！！！」

子ども「パパ！怖いよーうわーん！！！」

2人が固まつてしまつて動けない！！だがその時！！

？「やめるー！！！」

一台のバイクが体当たりをして怪人を吹き飛ばす！！その人物はすぐヘルメットを外してバイクからおりた！！それは…火野映司だつた！！

映司「早く逃げてください！！コイツは俺が引きつけます！！」

男性「たつたすかつたー！！ありがとう！！」

親子が頷いてあわてて逃げる。

？「貴様：欲も邪魔を…！！！」

怪人が立ち上がりなんと喋つたのだ！！

映司「喋れるのか！！何故人を襲つたんだ！！」

映司は驚きながらも怒りで叫んで聞く

怪人「我が主の命令でアギトの力の持つ者を抹殺…それが俺の命令だ…」

不気味に静かに言う怪人

コレを聞いた映司？

映司「【アギトの力？なんの事だ？】命令で人の命を狙うなんて…
そんな事させない！！」

映司はオーブドライバーを取り出して腰にあてオーカテドラルが装着される。

そして大切な仲間の一人・泉 比奈からもらったメダルホールダーから赤黄緑のカラフルなメダル・コアメダルを取り出す。

怪人「うん?」

映司「助けられる人が目の前にいたら俺は必ず助ける!!あの時から・後悔しないようにして!!」

ドライバーにタカコアを右の穴にバッタコアを左の穴入れ!!

映司「決めたんだ!!」

最後のトラコアを真ん中にいれてオーカテドラルを斜めに傾けオスキヤナーを取り外し変身ポーズを決めながら一気にスキャンする!!

映司「変身!!」

【タカ・トラ・バッタ!タ・ト・バ!タトバ!タ・ト・バ】

不思議な歌が流れメダル状の塊の中のタカ・トラ・バッタの三つの動物が頭体下半身で止まり合体してリングになり真ん中で紋章を胸部に円形のプレート・オーラングサークルを作り一気に変身が完了する!!

その姿は全身が黒く頭が赤目が緑 体が黄 下半身が緑だった。そしてオーラングサークルの周りが金になっていた。

そう!!彼は仮面ライダー・オーズの基本形態 タトバコンボに変身したのだ!!

怪人「む!!貴様もアギトの力を?」

怪人が驚きながら聞いてくるがオーズが首を振り答える

オーズ「俺はアギトじゃない!!オーズ!!仮面ライダー・オーズさ!!行くぞ!!」

メダジヤリバーを取り出して走りだす！！

オーストリア共和国大統領

「……………」

ジャガーの怪人は剣を空中から取り出し同じく走りだして互いに斬り合い始める！！

オーズ「ハ！う！たああああ！！」

互いは一歩も譲らず戦つたが力はほとんど互角だった

怪人「オーブ…なかなかやるな…」
怪人がつぶやく

オーズ「そつちもね：お前は何者なんだ！？」
オーズが聞くと怪人は静かに答える。

怪人「名前は無い……呼びたければそうだな……人間が名づけたアウノ

トーラー「アカノカシ?」

オーズが困惑して隙を見計

油然リヤソダジルのヨドニツツー掛

オーズ「うわ！…しまつた～！…く…！」

受け止める不二子が、力不足で跳り飛はれてしまった。

そしてオーズは壁に叩きつけられてしまふ！！

オーズは立ち上がり、素早くメダルをサイドコートに変えてスキャンする！

【サイ…ガリラ…ゾウ…サゴーゾ…ボン ボン サゴーゾ…ボボン】

オーズ「ハ…！」

オーズが気合を入れると同時に太鼓のテンポのような歌と共にオーズは白と銀と黒の体と赤い目を持つ怪力と重力検査に優れるコンボの一つ重量系コンボのサゴーゾにコンボチョンジする！

オーズ「うおおおおおおおおおおおおおおおお…！」

オーズはその場でドラミングを始める…

するとジャガーが驚き…空中に浮き身動きが取れなくなる。

ジャガー「ぐあああああ…！」

オーズ「よし…！ 気に決めるぞ…！」

オーズがドラミングをやめてジャガー落ちて来たタイミングでオスキヤナーで再スキャンする…

【スキヤニングチャージ…】

オーズ「は…！」

オーズはその場で跳躍し、着地の衝撃と共に発生した波紋状の銀色の3つのオーリングで標的を地面に捕縛して…

オーズ「せいやああああああああ…！」

ジャガーを手元に引き寄せて頭突き・フックパンチを同時に叩き込

む。

[一ノ二]

アウノウンはそのまま爆死して消え去った。

命中後
破壊された地面は修復されてオースは?

オーズ「はあ！はあ！！だいぶコンボも疲れなくなってきたな…」
今までの経験からだいぶオーズに慣れた為か変身が解除されなかつた。

「アーフ・さてと…伊達さん達と会流しないと…くわあああ…いきなり後ろから同類のジヤガーが襲い掛かってきたのだ…！」
オーズはまた吹き飛ばされ地面に倒れる。

オーズ「くそ！後ろからなんて卑怯……つてえ……！」

なんと後から五体も出てきたのた
！！

シナリオ 貴様!!』

シナノ

カーディナルズは「カーディナルズ」

「本音」のあらわしはどうな?

時々がんばってね――

オーナー「もしかして…後藤さん？伊達さん？」

たか正体は四人の中学生と小学生一人だった！！そこ！！それは狼

ちなみにア「は」つそり抜け出して来たらしい…

オーブ「！！！君たちは！！！」

驚きオーブが叫ぶ

オーズ「ここは危険だ……早く逃げて……」
だが狼が笑顔で答える

狼「大丈夫さ……後は任せてくれよ……えーと?」
響もオーズを見て気がつき

響「もしかしてオーズ?」

とオーズに聞き彼は頷いて驚く

オーズ「どうして俺の事を?あれ?アウノウン達が?」

アウノウンたちは一斉に狼に振り向き驚き恐怖で怯えていた
ジヤガー「貴様は……まさか……そんな…」

狼「そのまさかさ……みんな行くぞ……よく分からぬ敵だけど

…今はやるしかねえ……」

エレン「ええ……さていくわよー……」

奏「オッケー」

狼が素早く腕を複雑に動かすと腰に光のベルト…オルタリングが出
現し狼は右手をゆっくり前に突き出して…叫ぶ…

狼「変身!!」

オルタリングの横のスイッチを押す…

【ブウーン!!】

突風のような音がして狼の体が黒…アーマーが金と銀と黒…最後に
赤い目と金の角を持つ姿に変わる…

狼は仮面ライダーアギトに変身したのだ…

アギト「ハ!!」

決めポーズをするアギトを見たオーズは…

オーズ「変身した…?うそお…」

つと驚く

そして響たちもキュアモジューレを取り出し
四人「「レツツプレイ！プリキュア・モジュレーション」
メロディ「「爪弾くは荒ぶる調べ！キュアメロディ！」

リズム「「爪弾くはたおやかな調べ！キュアリズム！」

ビート「「爪弾くは魂の調べ！キュアビート！」

ミューズ「爪弾くは女神の調べ！キュアミューズ！」

四人「届け、4人の組曲！スイートプリキュア！
ポーズを華麗に決める4人！！」

オーズ「え！…」の子たちも変身したあああ！？一体どうなつ
てるの！？」

またしても驚いて腰を抜かすオーズ

そうこの瞬間から新しい戦いが…俺たちの新たな出会いが始まった
んだ…

続く！！

新たな出会いとアウノウンの出現!! オーズリーンズ!! (後書き)

次回はライダーとプリキュアの共闘!! そしてゼロの登場です!!
ではまた次回にで~!!

登場人物 及び主人公（前書き）

色々と書き加えて下りますがあまり変わつてないかな？

ではどうぞ！！

登場人物 及び主人公

犬上 狼／仮面ライダーアギト／ウルトラマンゼロ
いぬがみ ろう／かめんライダーあぎと／ウルトラマンゼロ

年齢 15

演 富野真守

1人呼は俺

本作オリジナルの主人公でスイートプリキュアのアリア学園中等部三年生。

前作で人々をアーヴ達から救った英雄の一人ウルトラマンゼロであり仮面ライダーアギトである。

かつては口が少々乱暴な言い方をするが、それはシャイな為であり本当は優しく素直に言えない為であった。

だが仲間と接する事で現在はゼロに変身する時だけ口調が乱暴になる位で普段は穏やかに話す。

また仲間を大事に思う気持ちが非常に強い

実は初対面であつた時に黒川エレンに惚れていて…戦いが終わつた後に告白して現在交際中であり恋人関係になつた…！

好きになつた理由は本人曰く「自分のタイプでとてもかわいい」と思つたかららしい…

【初対面で顔をすぐに背けたのは恥ずかしかつたのもあるが一瞬で惚れた為】

前回の戦いでオルフェノクでは無くなつたがゼロの光のお陰でファイズにも変身は可能。

年齢の割にはかなり大きく182・5 センチもある【演じているマモちゃんと同じで～す】

得意なバトルスタイルはあらゆる格闘技や宇宙拳法を応用した技を使って戦う事と異次元の世界でスピリットエナジーを獲得した為それを活用してゼロの新たな力を使って戦う。

口癖が何故か「つたぐ！ しょうがね～な！」に変わった。

藤宮海 / ウルトラマンアグル / 仮面ライダー ディガングマ

年齢 17 歳

演 水島ヒロ

狼の幼なじみでアグルとディガングマに変身する高校生の小年
現在は旅に出ている

プリキュア側

北条 韶

原作同様、おっちょこちょい部分もあるが、正義感が強い少女
今作ではアギトとオーズそしてゼロ共に共闘して行く！

南野 奏

原作同様、響の幼なじみ！

しつかりしていて、怒ると怖い！

また王子先輩卒業のショックで時々珍行動をする事も？

黒川 エレン

今作のヒロインで今作でプリキュアサイドの主人公

原作同様、セイレンが人間の姿のままになっている。

前作で狼の告白を受けて…お付き合い件恋人同士になつた。

お互いの呼び方は変わらないが戦闘でのコンビネーションがとても
良い！！

実は本人も気がついてなかつたがエレンも狼のカッコ良さとその諦
めない精神の強さに惚れていたと前作での最終回で気がつき狼の告
白を受け入れ自分も告白した。

現在は狼と一緒に行動もする事も

調辺 アコ

原作同様だが少々性格や初期の登場の仕方が違っている
メイジヤーランドのお姫様で今作でも一人のプリキュアとして戦う
!!

本人曰くパパの親馬鹿加減にうんざりしてこちらに居候【家出中】

登場人物 及び主人公（後書き）

次はウルトラマンゼロの設定です。
お楽しみに♪

ウルトラマンゼロのスタイル（前書き）

本作オリジナルのタイプフェンジの設定です
ではどうぞーー！

ウルトラマンゼロのスタイル

本作のゼロは地球から誕生している為原点とは異なりタイプチェンジが出来る。

変身する時はブレスを高く上げどのタイプになるかをイメージするがこのポーズを取らなくてもイメージがあれば変身可能である。

ウルトラマンゼロ ゼロタイプ

いつもの姿で基本形態 全体のバランスに優れている。

タイタンタイプ

全身が赤くなるパワー及びスタミナ形態。パワー重視のスタイルで力がとてつもなく強いがその分スピードがゼロタイプの半分しかない。見た目は青の部分が全て赤くなつていて両腕の筋肉が太くなっているのが特徴

スバロータイプ

全身が青くスピード及び超能力タイプ。スピード重視のスタイルでスピードが速くまた超能力を使うのに適したスタイル
その分パワーがゼロタイプの半分しかない。見た目は赤の部分が青くなっているのが特徴。

ウルトラマンゼロのスタイル（後書き）

次回は来年に一話目を投稿します。
ではまた！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9265z/>

ウルトラマンゼロ!仮面ライダーオーズ&アギト!スイートプリキュア 韶け!三

2011年12月31日17時45分発行